



民瀆

第六



414
A2651
6

民法第六卷目錄



契約

婚姻并養子養女ノ契約書

夫婦財産共通ノ事

共通ノ財産ヲ支配スル事

財産ノ共通ヲ解除スル事

共通ノ財産ヲ分ツ事

共通ノ負債ヲ分ツ事

大正十一年四月
侯爵郵寄贈

共通ノ財産ヲ受タルヲ肯セサル事

財産ヲ共通セス婚姻ヲ結ノ契約

夫婦財産ヲ分別スル契約

嫁資

嫁資財産支配ノ事

嫁資ヲ返還スル事

嫁資外ノ妻ノ財産

賣買

賣買ノ本義及ヒ法式

賣買ヲ為シ得可カラサル人ノ事

賣拂フヲ得可キ物件

賣主ノ義務

物件引渡

賣主其賣拂フタル物件ヲ買主ニ對シテ保

證スル事

買主ノ義務

賣買ノ契約ヲ廢棄スル事

買戻ノ權

賣主損夫アルヲ以テ賣買ノ契約ヲ廢棄スル事

迫賣ノ事

義務ヲ得可キノ權利及ヒ其他ノ權利ヲ人

ニ移ス事

交換ノ事

民法第六卷

契約篇



婚姻并養子養女ノ契約書

第五百九十七條 夫婦并養子養女ト養親トノ

間別段財産支配ノ契約アル時ハ其事ニ付證

書ヲ取替シ證人ノ加印アルハシ

夫婦財産共通ノ事

第五百九十八條 夫婦タル時ニ得タル所ノ

不動産不動産并ニ其不動産不動産ヨリ生スル
所ノ利益ハ共通財産中ノ物ナリトス

但シ其生スル所ノ利益ヲ共通財産中ノ物
トスル時ハ其負債モ亦同様ナリトス

第五百九十九條 夫婦中一方ノ者ハ其ノ名義ヲ以テ人ヨ
リ得ル所ノ財産ハ其一方ノ者ニ属スヘシ

但其負債モ同様タルヘシ

第六百條 妻其夫ノ承諾ヲ得スシテ人ヨリ債

ヲ負フタル時ハ其債主其妻ニ對シ其一身ノ
財産ヲ以テ其償ニ充ント要ムルヲ得ヘシ

第六百一條 妻其夫ノ名代人ニテ負フタル債

ハ共通ノ財産ヲ以テ其償ニ充ツ可シ但シ其
債主ハ其妻ニ對シ其一身ノ財産ヲ以テ其償
ニ充テシム可キヲ要ム可カラス

共通ノ財産ヲ支配スル事

第六百二條 夫ハ一人ニテ共通ノ財産ヲ支配

ス可シ

夫ハ其妻ノ承諾ヲ得スシテ共通ノ財産ヲ賣拂ヒ又ハ書入質ト為スヲ得可シ

第六百三條 夫ノ為ス遺言ノ贈遺ハ共通ノ財

産中ニテ其得可キ部分ニ過クルヲ得ス

第六百四條 夫ハ其妻ノ一身ニ属スル財産ノ全部ヲ支配スルノ権アリ

夫ハ其妻ニ属スル財産ニ付テノ訴訟ヲ總テ

一人ニテ為スヲ得可シ

夫ハ其妻ノ一身ニ属スル不動産ヲ妻ノ承諾

ヲ得スシテ賣拂ヒ又ハ贈與スルヲ得ス

夫其妻ノ財産ヲ保全ス可キ處置ヲ為サ、ルニ

因リ其財産損壞シタル時ハ自カラ其責ニ任

ス可シ

財産ノ共通ヲ解除スル事

第六百五條 財産ノ共通ハ左ノ場合ニ於テ解

除ス可シ

第一 夫死去スル時

第二 夫婦居ヲ分ツ時

第三 夫婦財産ヲ分ツ時

第四 夫死刑及ビ終身懲役ニ處ヤラレシ

時

一四四三

第六百六條 夫婦財産ヲ分ツ事ハ夫不行跡ニ
ラ産業衰敗シ夫一身ノ財産ヲ以テ妻其嫁資

ヲ取戻スニ足ラサルノ恐アル時其妻ヨリ之
ヲ裁判所ニ訴出スヲ得可シ

一四四六

第六百七條 夫婦財産ヲ分ツニ當テ其債主已
ノ權利ヲ保護セン為メ其訴訟ニ管涉シテ之
ヲ争フトヲ得ヘシ

一四四八

第六百八條 夫ト財産ヲ分チタル妻ハ已レノ
家産ト夫ノ家産トニ准シテ其夫婦ノ間ニ生
レシ子ノ養育費用ト家事費用トヲ出合ス可

若シ夫全ク其財産有ラサル時ハ其妻此等ノ費用ヲ盡ク擔當ス可シ

第六百九條 夫ト住居及ヒ財産ヲ分テ又ハ財産ノミヲ分テタル妻ハ其財産ヲ支配スルノ權ヲ復シ又ハ自己ノ動産ヲ人ニ贈與シ又ハ賣拂フヲ得可シ然レ不動産ハ夫ノ承諾或ハ裁判所ノ允許ヲ得ルニ非サレハ其不動産

ヲ贈與シ又ハ賣拂フヲ得ス

第六百十條 夫婦住居ト財産トヲ分テ又ハ財産ノミヲ分テタルニ因リ財産ノ共通ヲ解除シタルト雖モ其雙方ノ承諾ヲ以テ再ヒ其共通ヲ復スルヲ得可シ

共通財産ヲ分ツ事

第六百十一條 夫婦共通ノ財産ヲ分ツ時ハ各其負債ヲ擔當ス可シ

第六百十二條 共通ノ財産中ヨリ 夫又ハ妻ニ
返還ス可キ者又ハ妻ヨリ共通ノ財産中
ニ返還ス可キ者ヲラハ財産ノ共通ニ解除シ
タル日之ヲ償フ、シ

第六百十三條 財産ノ合部中ヨリ 夫又ハ妻ノ
先ツ引取ル可キ部分ニ盡ク引取リシ後ハ其
餘ノ物件ヲ平分ス可シ

第六百十四條 夫婦中一方ノ者共通セシ財産

中ノ物件ヲ竊取シ又ハ人ノ竊取シタルヲ知
リ之ヲ隠匿セシ時ハ其物件ヲ已レニ得ルノ權
ヲ失フ可シ 第七百九十
ニ條見合

共通ノ負債ヲ分ツ事

第六百十五條 共通ノ負債ハ夫婦各其半ハヲ
擔當ス可シ

第六百十六條 夫ハ已レノ契約シタル共通負
債ノ全部ヲ擔當ス可シ但シ其負債ノ半ヲ其

妻ヨリ已レニ償還セシムルノ權アリ

共通ノ財産ヲ受クルヲ肯メサル事

第六百十七條

共通ノ財産ヲ受クルヲ肯セ

サル妻ハ其財産ヲ得ルノ權ヲ失ヒ且嘗テ自

カラ其共通ノ財産中ニ加入セシ動産ト雖モ

亦之ヲ得ルノ權ヲ失フ可シ

第六百十八條

共通ノ財産ヲ受クルヲ肯メ

サル妻ハ其夫又ハ債主ニ對シ共通ノ負債ヲ

ヲ全ク擔當スルニ及ハス。然レ妻其夫ト連
帶シ負債ヲ償フ可キ契約アル時又ハ共通ノ
負債元來妻ノモノタル時ハ妻其負債ヲ擔當
ス可シ

財産ヲ共通セス婚姻ヲ結フ契約

第六百十九條

財産ヲ共通セスシテ婚姻ヲ結

フ契約アリト雖モ妻ハ已レノ財産ヲ支配ス

ルノ權又ハ其財産ノ利益ヲ收受スルノ權ヲ

大正

有スルコトナシ

第六百二十條 夫ハ其妻ノ動産及ヒ不動産ヲ支配シ且其妻ノ嫁資トシテ持テ来リシ動産又ハ夫婦タル時間其妻人ヨリ得タル所ノ動産ヲ已レニ收受スルノ権アリ但シ後日夫婦ノ縁消スル時又ハ裁判所ヨリ夫婦ノ財産ヲ分ツ可キ言渡ヲ為シタル時ハ其動産ヲ其妻ニ還與ス可シ但シ不動産ハ嫁資財産支配ノ

規則ニ從フヘシ

第六百二十一條 妻ノ嫁資トシテ持来リシ不動産ハ之ヲ人ニ賣拂フトリ得ヘシト雖モ其夫ノ承諾或ハ裁判所ノ允許ヲ得レヲ必要トス

夫婦財産ヲ分別スル契約

第六百二十二條 夫婦婚姻ノ契約書ニ其財産ヲ分別ス可キコトヲ約シタル時ハ妻其動産及

と不動産ヲ支配スルノ権并ニ其入額ヲ所得
ト為スル権ヲ已レニ保ツコトヲ得可シ

嫁資

第六百二十三條 嫁資トハ妻其夫婦タル時間
ノ費用ニ充ツ可キ為メ夫ノ方ニ持テ来リシ
財産ヲ云フ

第六百二十四條 妻ハ現ニ所有スル財産並ニ
後ニ所有ト為ス可キ財産ノ全部或ハ一部ヲ

嫁資ト為スコトヲ得可シ

第六百二十五條 夫婦タル時間妻新クニ得タ
ル財産ヲ嫁資ト為スコトヲ得ス又豫メ嫁資ト
為シタル財産ノ量ヲ増スコトヲ得ス

第六百二十六條 嫁資ヲ與フル者ハ其嫁資ト
シテ贈與スル財産ヲ保證ス可シ

嫁資財産支配ノ事

第六百二十七條 夫婦タル時間ハ夫一人ニテ

嫁資ノ財産ヲ支配スルノ権アリ

第六百二十八條 嫁資ト為シタル不動産ハ夫

婦タル時間夫婦各自又ハ連合シテ之ヲ人ニ

賣拂ヒ又ハ贈與書入質ト為スヲ得ス

第六百二十九條 左ノ数箇ノ場合ニ於テハ嫁資

ノ不動産ヲ迫リ賣クニ為スヲ得ヘシ

第一 夫又ハ妻ヲ獄舎ヨリ出サシムル時

第二 親族ニ養料ヲ給與スル時

第三 妻婚姻以前ノ日附愼ナル負債又ハ

妻ニ嫁資ヲ與ヘシ者ノ債ヲ拂フ時

第四 嫁資ノ不動産ヲ保全スルニ付キ必

要ナル修理ヲナス時

第五 嫁資ノ不動産ヲ他人ト共通シテ所

有シ之ヲ分ツ可カラサルノ分明

ナル時

右諸般ノ場合ニ於テ其不動産ヲ賣拂得

タル金高中ニテ必要ノ高ニ過タル部ハ
之ヲ妻ノ嫁資ノ一部ト為シ其利益トナル
可キ方法ニ用フ可シ

嫁資ヲ返還スル事

第八百三十條 嫁資ノ不動産ナル時又ハ婚姻
ノ契約書ニ價ヲ定メサル動産ナル時ハ離縁
セシ後夫ヨリ遅延ナク其終返還ス可シ

第六百三十一條 嫁資ノ金高ナル時ハ其離縁

セシ後夫ヨリ一年內ニ之ヲ返還スヘシ

第六百三十二條 妻ノ所有スル動産其夫ノ過

失ニ非ラス唯之ヲ用ヒタルノニニ因リ損敗
シタル時ハ其存シタル部分ニテ其時ノ模
様ノ終返還スヘシ

第六百三十三條 妻ノ嫁資ヲナシタル人ヨリ

得可キ義務又ハ年金ヲ夫ノ怠リニ非スシテ
其義務又ハ年金ヲ全ク失フニ至リ又ハ之ヲ

減損シタル時ハ夫其責ニ任スルヲ以テ其
義務又ハ年金、契約書ヲ返還ス可シ

第六百三十四條 財産、入額所得ノ權ヲ嫁資

ト為シタル時ハ其離縁ノ時ニ至リ夫ヨリ唯
其入額所得ノ權ヲ返還シ其入額ハ返還スルニ及ハス

嫁資外ノ妻ノ財産

第六百三十五條 嫁資ト為サ、ル妻ノ財産ハ

總テ之ヲ嫁資外ノ財産ト云フ

第六百三十六條 妻ノ財産盡ク嫁資外ノ財産ニ

シテ夫婦トナル時間、費用ノ中幾許ヲ其妻
ノ擔當ス可キヤラ婚姻ノ契約書ニ別段定メ
タルヲナキ時ハ其妻已レノ入額ノ三分一ニ
至ル迄ヲ其時間ノ費用トシテ出ス可シ

第六百三十七條 妻ハ其嫁資外ノ財産ヲ支配

シ且其入額ヲ所得ト為スノ權アリ
然レ夫ノ承諾又ハ裁判所ノ允許ヲ得ルニ非

サレハ其財産ヲ人ニ賣拂ヒ又ハ贈與スルコトヲ得ス又其財産ニ付テ訴訟ノ原告被告トナルトヲ得ス

一五七八

第六百三十八條

若シ夫別段其妻ノ名代人タルハキ、契約ナク唯其妻ノ阻拒セサルニ因リ嫁資外ノ財産ノ利益ヲ所得ト為シタル時ハ其離縁ノ時又ハ妻ヨリ求メテ受ケタル時ニ至リ現存スル利益ノミヲ還ス可ク既ニ費

一五七九

シタル利益ヲ算計スルニ及ハス

第六百三十九條

又夫其妻ノ阻拒スルヲ用ヒス嫁資外ノ財産ノ利益ヲ所得ト為シタル時前條ノ場合ニ於テハ其夫既ニ費シタル利益ト現存スル利益トヲ皆其妻ニ算計ス可シ

一五八〇

第六百四十條

妻ノ嫁資外ノ財産ノ利益ヲ所得ト為ス夫ハ總テ入額所得者ノ義務ヲ負フ可シ

賣買

賣買ノ本義及ヒ法式

第六百四十一條 賣買トハ一方ヨリ物件ヲ渡

シ他ノ一方ヨリ其價ヲ拂フ可キノ契約ヲ云

フ

賣買ハ證書ヲ以テ之ヲ為シ又ハ双方ノ承諾

ノミヲ以テ之ヲ為ス_一得可シ_{千三百四十}

_{一條見合}

第六百四十二條 一方ヨリ未タ物件ヲ渡サス

他ノ一方ヨリ其價ヲ拂ハスト雖凡其物件ト
其價ト_レ且ニ悞議シタル上ハ其双方ノ間ニ
於テ賣買ヲ為シ了_リタルモノトシ買主ハ賣
主ニ對シテ其物件所有ノ權ヲ得可シ

第六百四十三條 賣買ハ別段ノ約束ナク之ヲ

為ス_レ得又ハ義務ノ執行ヲ停止スル未必

ノ條件_一原第千百八十_{及ヒ}義務ヲ解除スル未

必_ニ條件_三原第千百八十_ニ管スル約束ヲ以テ

之ヲ為スヲ得ヘシ

又賣買ハ二箇以上ノ物件中ニテ其一ヲ擇ム

可キノ約束ヲ以テ之ヲ為スヲ得可シ

何レノ場合ニ於テモ賣買ノ契約ノ効ハ契約

ノ部ニ記シタル一般ノ規則ヲ以テ之ヲ定ム

第六百四十四條 商品ヲ一纏メトナサヌ之ヲ

度量シ又ハ算計シテ賣ラントスル時ハ其度

量算計ニ至ル迄ノ時間賣主其物件ヲ已レニ

擔當ス可キニ因リ其賣買ヲ為シヨリタルモ
ノト為ス可カラズ但シ賣主契約ノ如ク執行
ハサルヲアル時ハ買主其商品ノ引渡ヲ得シ
ト訴ヘ又損失アルニ於テハ其償ヲ得ント訴
フルヲ得ヘシ

第六百四十五條 又商品ヲ一纏メト為シタル

時ハ未タ度量シ又ハ算計セスト雖モ其賣買

ヲ為シヨリタルモノトス可シ

第六百四十六條

飲食料總テ買入ル、前ニ味

ヲ試ム可キ習慣アル物品ニ付テハ買主其試

ミヲ為シ承諾シタル上ニ非レハ賣買ヲ為シ

ヨリタル者トナスヘカラス

第六百四十七條

光ツ物品ヲ試ミタル上ニテ

之ヲ買入ル可キ約束アル賣買ハ義務ノ執行

ヲ停止スル未必ノ條件ニ管シタル約束ヲ以

テ為シタルモノト為ス可シ

第六百四十八條

手附金ヲ出シテ賣買ノ契約

ヲ為シタルニ於テハ一方ノ者左ノ條件ヲ行

フニ於テハ其契約ヲ取消スヲ得可シ

手附金ヲ渡シタル者其手附金ヲ已レノ損

失ト為ス時

手附金ヲ受取リタル者其手附金ノ一倍ヲ

返ス時

天災等意外ノ事ニテ其物ノ滅尽毀壞シタ

大正官

レニヨリ其受取リタル手附金ノ半ヲ返ス

時

第六百四十九條 賣買ノ價ハ双方ノ者之ヲ定

ムヘシ

第六百五十條 然モ双方ノ者ハ其評價ヲ他人

ノ裁断ニ任カスルコトヲ得可シ

第六百五十一條 賣買ニ付テノ證書及ヒ其他

ノ雜費ハ買主之ヲ擔當スヘシ

賣買ヲ為得可カラサル人ノ事

第六百五十二條 左ノ者ハ此等ノ財産ヲ自カ

ラ買入レ又ハ人ノ介人ヲ以テ買入ル、コトヲ

得ス縱令之ヲ買入レタルト雖モ其効ナカル

可シ

後見人ハ如者ノ財産

名代人ハ本人ニ代リテ賣拂フ可キノ任ヲ

受ケタル財産

部曲ノ支配人及ヒ公ケノ建造物ノ支配人

ハ其支配スル財産

官ニ属スル財産賣拂ノ任ヲ受ケタル官吏

ハ其財産

一五九七

第六百五十三條 裁判役及ヒ檢事裁判所書記

官代書人代書人證書人等ハ其職務ヲ行フ裁

判所ノ所轄タル訴訟ヲ為スノ權ヲ買受クル

トヲ得ス然令之ヲ買受クルト雖モ其買受ノ

効ナク且相手方ニ裁判所ノ費用ト損失ノ高

トヲ償フ可シ

賣拂ヲ得可キ物件

一五九八

第六百五十四條 通常賣買シ為ス物件ハ總テ

之ヲ賣拂フトヲ得可シ但別段ノ規則ニ因リ

其賣拂ヲ禁シタル時ハ格別ナリトス

一五九九

第六百五十五條 賣主自己ノ所有ニ非サル物

件ヲ賣拂フトル時ハ其賣拂ノ効ナカル可シ

但シ此場合ニ於テ買主其物件賣主ノ所有ニ
非サルヲ知ラサル時ハ其賣主ニ對シ損失
ノ償ヲ得ント訴フルヲ得可シ

第六百五十六條

賣拂フ可キ契約ヲ為シタル
物件ノ全部其賣拂ノ時ニ至リ減尽シタルニ
於テハ其賣買契約ノ効ナカル可シ

又其物件ノ一部減尽シタル時ハ買主全ク其
賣買ノ契約ヲ廢シ又ハ評價人ヲシテ其現存

スル部分ノ價ヲ定メシメ之ヲ得ント求ムル
ヲ自由ナリトス

賣主ノ義務

第六百五十七條

賣主ハ其義務ヲ詳カニ説明
ス可シ

意味ノ分明ナラス又ハ疑ハシキ契約ノ文詞
ハ皆賣主ノ損失トナル可キ方ニ之ヲ解釈ス
可シ

第六百五十八條 賣主ノ為メニ重大ナル義務

二箇アリ其一ハ賣拂ヲタル物件ノ引渡ス可
キ事又一ハ其物件ヲ保證ス可キノ事ナリ

物件引渡

第六百五十九條 物件引渡トハ賣拂ヲタル物

件ヲ買主ノ所有ニ移スヲ云フ

第六百六十條 不動産ヲ引渡ス時ハ其所有ノ

證書ヲ渡シタルニ因リ賣主ヨリ買主ニ對シ

テ其義務ヲ尽クシタルト為スヘシ

第六百六十一條 動産ノ引渡ハ現ニ之ヲ渡シ

又ハ之ヲ入レ置キタル家屋ノ鑰ヲ渡スニヨ
リ義務ヲ尽シタルト為スヘシ

第六百六十二條 権利ノ引渡ハ證書ヲ渡シ又

ハ賣主ノ承諾ヲ得テ買主其權利ヲ行フニ因
リ引渡シタルト為ス可シ

原千六百八十
九條見合セ

第六百六十三條 引渡ニ付テノ費用ハ賣主之

ヲ擔當ス可シ又運送ノ費用ハ買主之ヲ擔當
ス可シ但シ之ニ反シタル契約アル時ハ格別
ナリトス

第六百六十四條 引渡ハ賣拂ノ時其物件所在
ノ場所ニテ之ヲ為ス可シ但シ之ニ反シタル
契約アル時ハ格別ナリトス

第六百六十五條 賣主其所為ニ因リ嘗テ買主
ト悞議セシ期限内ニ物件ヲ引渡スヲ遅延

シタルニ於テハ買主其賣買ノ契約ヲ取消サ
ント訴ヘ又ハ其物件ヲ已レノ所有ト為サン
ト訴フルヲ自由ナリトス

第六百六十六條 何レノ場合ニ於テモ賣主買
主ト悞テ悞議セシ期限内ニ其物件ヲ引渡サ
レニ因リ買主ノ為メ損失ヲ生スル時ハ賣
主其損失ノ償ヲ為ス可キノ言渡ヲ受ク可シ

第六百六十七條 買主賣主ニ代金ノ拂ハサル

時又ハ賣主其拂方ノ猶豫ヲ許サレハ買主
之ヲ遅延シタル時ハ賣主其物件ヲ引渡スニ
及ハス

第六百六十八條 賣買ノ契約ヲ為シタル後買

主家資分散ヲ為シ又ハ産業ヲ破リタルニ因
リ賣主其代金ヲ損失ス可キノ危急ナルニ於
テハ縱令賣主其代金拂方ノ猶豫ヲ許シタル
ト雖モ賣主其物件ヲ引渡スニ及ハス但シ買

主ヨリ賣主ニ對シ豫定ノ期限ノ至リ必ス其
代金ヲ拂フ可キノ保証人ヲ立テタル時ハ格
別ナリトス

第六百六十九條 總テ引渡ス可キ物件ハ賣買

ノ契約ヲ為シタル時ノ景状ノ低之ヲ引渡ス
可シ

其契約ノ時ヨリ後ニ其物件ヨリ生スル所ノ
利益ハ買主ニ屬ス可シ

第六百七十條 物件ヲ引渡シ可キ義務アル時
ハ其物件ニ附從シタル一切ノ物ヲモ亦引渡
ス可シ

第六百七十一條 總テ賣主ハ賣買ノ契約書中
ニ記載シタル物件ノ總高ヲ引渡ス可シ但シ
此事ニ付テハ後ノ數條ノ規則ニ循フ可シ

第六百七十二條 不動産賣買ノ契約書ニ記シ
タル如ク方積ヲ渡スヲ能ハスシテ賣主買主

協議スルニ於テハ賣主其契約書ニ記シタル
所ノ方積ト現ニ在ル所ノ方積トノ差ニ准シ
テ其價ヲ減ス可シ

第六百七十三條 若シ又前條ノ場合ニ於テ契
約書ニ記セシヨリ其方積更ニ多分ニシテ其
餘分ノ積契約書ニ記シタル積ニ過クルトニ
十分一以上ナル時ハ買主其價ノ增高ヲ與ル
トモ又其契約ヲ取消スル自由ナリ

但別段ノ契約アル時ハ格別ナトス

第六百七十四條 前條ニ循ヒ不動産ノ方積ノ
餘分ヲ買主已レノ方ニ保テ置キタル時ハ價
ノ增高ト共ニ其息銀ヲ拂フヘシ

第六百七十五條 買主賣買ノ契約ヲ取消ス可
キノ權アル場合ニ於テハ賣主其受取リタル
代金ト其契約ヲ為スニ付テノ費用トヲ買主
ニ返ス可シ

第六百七十六條 賣主價ノ增高ヲ求ムルノ訴

訟及ヒ買主價ヲ減シ又ハ契約ヲ取消スヲ
求ムルノ訴訟ハ其契約書ヲ記シタル日ヨリ
一年内ニ之ヲ為ス可シ然ラザレバ其訴訟ヲ
為ノ權ヲ失フ可シ

第六百七十七條 一通ノ契約書ニ據リ相合シ

タル價ヲ以テ二箇ノ不動産ヲ賣拂ヒ其二箇
ノ不動産ノ度量ヲ契約書ニ記シタル時其一

箇ノ不動産ノ方積ハ契約書ニ記シタル積ヨ
 リ少ク他ノ一箇ノ不動産ノ方積ハ契約書
 ニ記シタル積ヨリ多キニ於テハ其多少ノ方
 積匹敵スルニ至ル迄立ニ差引ス可シ但シ其
 價高ヲ増シ又ハ減ス可キノ訴訟ハ前ノ數條
 ニ記載シタル規則ニ循テ之ヲ為ス可シ
 賣主其賣拂フタル物件ヲ買主ニ對シ
 テ保證スル事

第六百七十八條 賣主ヨリ買主ニ對シテ為ス
 可キ保證ハ二箇ノ目的アリトス其一ハ其賣
 拂フタル物件ノ買主ノ所有スルニ付故障ナ
 キノ保證ヲ為ス事又一ハ其物件ニ知リ得ル
 不能ハサル不良ノ所マラサルノ保證ヲ為ス
 事ナリ
 第六百七十九條 賣買ノ時別段契約ヲ為サス
 ト雖モ其買入レタル物件ノ全部又ハ一部ヲ

他人ヨリノ訴訟ニ因リ奪ハル、ニナキ旨又
契約書ニ記セサル負債ハ買主擔當スルニ及
ハサル旨ヲ賣主ヨリ買主ニ對シテ保證ス可
シ

第六百八十條 然レ賣主ト買主ト雙方互ニ別
段ノ契約ヲ結ビ賣主ヨリ當然ノ保證ニ付キ
其義務ヲ増減ス可キヲ約シ又ハ賣主全ク
其保證ヲ為スヲナカル可キ旨ヲ約スルヲ

得可シ

第六百八十一條 又賣主全上ノ保證ヲ為サル
契約ヲ為シタル時ト雖モ買主他人ヨリ訴訟
ヲ受ケ其買入レタル物件ヲ奪ハル、ニ於テ
ハ賣主ヨリ買主ニ其代金ヲ返ス可シ
但シ買主賣買ノ契約ヲ為シタル時後ニ其
物件ニ付キ他人ヨリ訴訟ヲ受ケ之ヲ奪ハ
ル可キノ恐レアルヲ既ニ知リタル時又

ハ物件ヲ買入タル後之ヲ失フテアリトモ
其損失ヲ總テ已レニ擔當ス可キノ約束ヲ
以テ買入レタル時ハ格別ナリトス

第六百八十二條 賣主買主ニ對シテ保證ヲ約
シタル時又ハ保證ノ一ニ付キ別段契約ヲ為
サ、ル時後ニ買主他人ヨリ訴訟ヲ受ケ其買
入タル物件ヲ奪ハレタルニ於テハ買主ヨリ
賣主ニ對シ左ノ諸件ヲ得ント訴フルノ權アリ

第一 代金ノ返還

第二 買主他人ヨリ訴訟ヲ受ケ其買入タ
ル物件ト共ニ其物件ヨリ生シタル
利益ヲ奪ハレタル時ハ其利益ノ償

還

第三 買主他人ヨリ訴訟ヲ受ケタル時其
保證人タル賣主ヲ其訴訟ニ參セン

ル手續ニ付テノ費用及ヒ其訴訟
人ニ償フタル費用

第四 賣買契約書ノ費用并ニ買主ノ損失
ノ償額

第六百八十三條 買主他人ヨリ訴訟ヲ受ケ其
買入タル物件ヲ奪ハレタル時ハ嘗テ買主ノ
急リニ因リ又ハ防拒ス可カラサル意外ノ事
ニ因リ其物件ノ價減損シ又ハ其物件大ニ毀

損ヲシテアリト雖モ賣主猶其價ノ總高ヲ返
還ス可シ

第六百八十四條 然モ買主其物件ヲ使用シタ
ルニ因リ利益ヲ得タル時ハ賣主買主ニ返還
ス可キ代金中ニテ其買主ノ利益トナリタル
高ヲ減シ其餘ヲ返還スルヲ得可シ

第六百八十五條 買主他人ヨリ訴訟ヲ受ケ其
買入タル物件ヲ奪ハレタル時嘗テ買主ノ所

為ニ因ルト否トヲ問ハス其物件ノ價増シタ
ルニ於テハ賣主ヨリ買主ニ其物件ノ賣拂代
金ノ增高ヲ償還ス可シ

第六百八十六條 前條ノ場合ニ於テ買主其買
入タル不動産ヲ修理シタル費用又ハ之ヲ良
好ニ為シタル費用ハ賣主自カラ之ヲ買主ニ
償ヒ又ハ其買主ニ對シ訴訟ヲ為シテ其不動
産ヲ所得トシタル者ヲシテ之ヲ買主ニ償ハシ

ムヘシ

第六百八十七條 賣主若シ不正ノ意ヲ以テ他
人ノ不動産ヲ賣リ買主之ヲ奪ハレタル時ハ
買主其不動産ニ付キ為シタル總テノ費用ヲ
償還ス可シ但シ買主ノ其不動産ニ付キ勸娯
ノ為メナシタル費用ト雖モ亦之ヲ償還セサ
レテ得ス

第六百八十八條 買主他人ヨリ訴訟ヲ受ケ其

買入タル物件ノ一部ヲ奪ハレタル時買主其
奪ハル、ヲ知ラハ初ヨリ之ヲ買入ル、ト
ナカル可シト思料ス可キニ於テハ買主其賣
買ノ契約ヲ取消スヲ得可シ

第六百八十九條

又買主他人ヨリ訴訟ヲ受ケ
其買入タル不動産ノ一部ヲ奪ハレタル時賣
買ノ契約ヲ取消サルニ於テハ其不動産價、
増減ニ管ハス其一部ヲ奪ハレタル時ノ價ニ准

シテ賣主ヨリ買主ニ其一部ノ代金ヲ償フ可ク賣買ノ時價ニ准テ之ヲ償フ可カラズ

第六百九十條

賣拂フタル不動産ニ付キ目ニ

觸レサル土地ノ義務アルニ賣買ノ時賣主ヨ
リ之ヲ知ラシメス且其義務重劇ニシテ若シ
買主之ヲ知ラハ初ヨリ其買入サル可シト思
料ス可キ時ハ買主其賣買ノ契約ヲ取消スヲ
得可シ但シ買主其契約ヲ取消セ
スシテ唯其損失ノ償ヲ得ント欲スル時ハ格

別ナリトス 厚六百八十九條

第六百九十一條 前數條ニ記スル所ノ外賣主

賣買ノ契約ノ如ク執行ハサルニ因テ買主ニ

對シ償ヲ出ス可キ條件ハ契約ノ部ニ記シタ

ル一般ノ規則ニ循フ可シ

第六百九十二條 賣主ハ其賣拂フタル物件ニ

自其當然ノ用ニ適セサル隠レタル不良ノ所

ナキ旨ヲ買主ニ對シテ保證ス可シ

第六百九十三條 賣主ハ其頭ハレタル不良ノ

所アル時ハ自カラ知ルヲ得可キ不良ノ責

ニ任スルニ及ハス

第六百九十四條 賣主ハ其賣拂フタル物件ニ

隠レタル不良ノ所アルヲ自カラ知ラサル

時ト雖モ猶其責ニ任ス可シ但シ此場合ニ於

テ賣主其責ニ任セサルヲ別段契約シタル

時ハ格別ナリトス

第六百九十五條 原千六百四十一條及以前條

ノ場合ニ於テハ買主其買入タル物件ヲ賣主ニ返シテ其價額ヲ已レニ取戻ス事又ハ其物件ヲ已レニ保テ置キ評價人ノ定メタル所ニ從ヒ已レニ取戻スヘキ一部ノ價額ヲ得ル事自由ナリトス

第六百九十六條 賣主其賣拂フタル物件ノ不

良ナルヲ知リ之ヲ賣拂フタル時ハ其受取リシ代金ヲ返シタル上猶買主ニ其損失ノ價ヲ為ス可シ

第六百九十七條 賣主其賣拂フタル物件ノ不

良ナルヲ知ラスシテ之ヲ賣拂フタル時ハ其代金ヲ返シ且買主ノ買入ニ付キ出シタル費用ノミヲ償フ可シ

第六百九十八條 不良ナル物件其質ノ悪キニ

因リ減尽シタル時ハ賣主其損失ノ價トシテ

買主ニ其代金ヲ返シ且前二條ヲ記シタル償
ヲ為ス可シ然レモ全上ノ物件意外ノ事ニ因リ
滅尽シタル時ハ買主ノ損失トス可シ

第六百九十九條 賣拂ヲタル物件ニ不良ノ事

アルニ因リ賣買ノ契約ヲ取消サントスル訴
訟ハ買主速ニ之ヲ為スヘシ

但裁判所ノ權ヲ以テ為シタル賣拂ハ此例
ニ非ス

買主ノ義務

第七百條 買主ハ賣買ノ契約書ニ定メタル日

ト場所トニ於テ其代金ヲ拂フ可キヲ以立
タル義務ト云

第七百一條 賣買ノ契約書ニ別段前條ノ事ヲ

定メタルヲナキ時ハ買主賣主ヨリ其物件ノ
引渡ヲ得タル時ト場所トニ於テ其代金ヲ拂
フ可シ

第七百二條 左ノ三箇ノ場合ニ於テハ買主賣主ニ價額ヲ拂フニ至迄ノ時間其息銀ヲ出ス可シ

第一 賣買ノ契約書ニ別段企上ノ事ヲ記シタル時

第二 賣主其賣拂フタル物件ヲ引渡シタル後買主其物件ヨリ入額ヲ得タル時 原五百八十三条十六百十四条見合セ

第三 買主其代金ヲ拂フヲ怠リタルニ

因リ其催促ヲ受ケタル時
但シ此場合ニ於テハ賣主其催促ヲ為シタル時ヨリ以未其息銀ヲ生ス可シ

第七百三條 買主其買入レタル物件ニ付キ正當ノ所有者ヨリ之ヲ取戻サントスル訴訟ヲ受ケタル時又ハ此訴訟ヲ受ク可シト思料ス

可キ時ハ賣主其訴訟ノ原因ヲ除去スルニ至
ル迄買主其代金ヲ拂フコトヲ遅延スルヲ得可
シ但シ賣主ヨリ此ノ事ニ何保證人ヲ立テタ
ル時又ハ縱令買主訴訟ヲ受タルコトアリト雖
モ其代金ヲ拂フ可キコトヲ豫シメ契約シタル
時ハ格別ナリトス

第七百四條 若シ買主代金ヲ拂ハサル時ハ賣
主其賣買ノ契約ヲ取消サントスレ訴ヲ為ス

コトヲ得可シ

第七百五條 不動産ノ賣主其不動産并ニ其代
金ヲ共ニ失フ可キノ恐レアリテ訴ハ出ル時
ハ裁判所ヨリ其賣買ノ契約ヲ取消ス可キ旨
ヲ即時ニ言渡ス可シ
又今上ノ恐ナキ時ハ裁判役ヨリ其時ノ模様
ニ從ヒ買主ニ多クノ猶豫ヲ許スコトヲ得可シ
買主其猶豫ノ期限間ニ猶其代金ヲ拂フコトナ

大
文
書

時ハ賣買ノ契約ヲ取消ス可キコトヲ言渡ス可
シ

第七百六條 不動産賣買ノ時買主ト賣主ト悞
議シタル期限ニ買主其代金ヲ拂ハサルニ於
テハ其賣買ノ契約ヲ取消ス可キコトヲ別段定
メ置キタリト雖モ賣主ヨリ買主ニ其代金ヲ
受取ル可キ催促ヲ為サハル間ハ嘗テ悞議シ
タル期限ヲ過キテ買主其代金ヲ拂フコトヲ得

可シ然モ賣主ヨリ買主ニ其代金ヲ受取ラン
ト催促シタル後ハ裁判役ヨリ其買主ニ更ニ
猶豫ノ期限ヲ許スコトヲ得ス

第七百七條 飲食料ノ商品及ヒ日用動産ノ賣
買ヲ契約シタル時ハ其物ヲ引取ル可キ為メ
悞議シタル期限終ラハ賣主ヨリ其代金ヲ受
取ル可キノ催促ヲ為スコトナク直ニ其賣買ノ
契約ヲ取消スコトヲ得可シ

賣買ノ契約ヲ廢棄スル事

第七百八條 賣買ノ契約ヲ廢棄セシムル原由ノ外買戻ノ權ヲ行フ事又ハ價ノ少ナキニ過キタル事ニ因リ亦賣買ノ契約ヲ廢棄スルコトヲ得ヘシ

買戻ノ權

第七百九條 買戻ノ權トハ賣主其得タル代金ヲ返シ且原第四百七十三條ニ記スル所ノ

償還ヲ為シテ其賣拂フタル物件ヲ取戻ス可キノ契約ニ因リ生スル所ノ權ヲ云フ

第七百十條 買戻ノ權ヲ行フ契約ハ五年ヲ以テ期限トスヘシ

若シ五年ニ過キタルト雖モ其權ヲ行フ可キコトヲ契約シタル時ハ之ヲ五年ノ期限ニ減ス可シ

第七百十一條 雙方ノ定メタル期限ハ嚴ニ之

ヲ遵守ス可ク裁判役ヨリ其期限ヲ延スルヲ得ス

第七百十二條 賣主預定シタル期限内ニ買戻

シノ要メヲ為サザル時ハ買主其物件ノ真ノ所有者トナル可シ

第七百十三條 何レノ人ト雖モ預定ノ期限内

ニ買戻ヲ權ヲ行フコトナキ時ハ終ニ其權ヲ失フ可シ但シ幼者ト雖モ亦同一ニシテ唯幼者

ハ後見人ニ對シ其償ヲ得可キノ訴ヲ為スルヲ得ヘシ

第七百十四條 買戻ノ契約ヲ以テ物件ヲ賣拂

フタル者ハ其買主ヨリ更ニ其物件ヲ買入タル者ニ對シ亦買戻ノ訴訟ヲ為スルヲ得ヘシ但シ其買主更ニ其物件ヲ賣拂フ時ノ契約書ニ其買戻ノ權ヲ別段記入セスト雖モ第二ノ買手初ノ賣買證書ヲ知ラツ、買受シ時ハ亦

同 一ナリトス

第七百十五條 物件買戻ノ權ヲ行フ賣主ハ其
代金ヲ買主ニ返スコノミニ非ス賣買ニ付テ
ノ費用及ビ已ルヲ得サル修理ノ費用モ亦買
主ニ償ヒ且其物件ノ價ヲ賣フスルカタメ為
シタル費用ノ中現ニ其價ヲ賣フシタル高ヲ
買主ニ償フ可シ○其賣主ハ總テ此等ノ義務
ヲ行フタル後ニ非レハ其物件ヲ買戻スコト

得ス

又賣主買戻ノ契約ニ從ヒ其不動産ヲ買戻ス
時ハ買主ノ其不動産ニ付キ擔當シタル負債
ヲ全ク滌掃シテ戻戻スコトヲ得可シ但シ買主
ノ詐偽ナク其不動産ヲ他人ニ貸貸シタル契
約ハ其買戻ヲ為シタル賣主モ亦之ヲ遵守ス
可シ

賣主損失アルヲ以テ賣買ノ契約ヲ變

棄スル事

一六七四

第七百十六條 賣主其不動産ノ價ニ付キ六分
以上ノ損失ヲ受ケタル時ハ其賣買ノ契約ヲ
廢棄セント訴フルノ權アリ

一六七五

第七百十七條 賣主六分以上ノ損失アルヲ
知ル可キ為メニハ賣買ノ時ノ景状ト價トニ
從ヒ其不動産ヲ評價ス可シ

一六七六

第七百十八條 賣買ノ日ヨリ 一年ノ後ニ至リ

ラハ賣主ノ損失アルヲ以テ賣買ノ契約ヲ取消
ス可キノ訴ヲ為スヲ許サス

又買戻ノ為メ契約シタル期限ノ間ト雖モ賣
主損失ニ付キ賣買ノ契約ヲ取消ス可キ一
年ノ期限ヲ選延スルヲ得ス

一六七八

第七百十九條 賣主損失アルノ證ハ評價人三
負ノ申立ニ因リテ之ヲ立ツ可シ但シ其評價
人三負ハ各調書ヲ記ス可ク且其三負中其一

負ノ説ニ負ノ説ト異ナル時ハ其二負ノ説ヲ
以テ全負ノ説ト定ム可シ

一六八〇
第七百二十條 評價人三負ハ裁判所ヨリ之ヲ
任ス可シ但シ賣主買主ノ双方協議撰任シタ
ル時ハ格別ナリトス

一六八一
第七百二十一條 裁判所ニテ賣買契約ノ取消
シヲ許シタル時ハ買主其拂フタル代金ヲ已
レニ取戻シテ其物件ヲ賣主ニ返ス事又ハ評

價ノ総高ノ十分一ヲ減シタル上ニテ正當ノ
增高ヲ與ヘ其物件ヲ已レニ保有スル事自由
ナリトス

買主ヨリ更ニ其物件ヲ買入タル者モ亦同上
ノ權アリトス但シ其者ハ以前ノ買主ニ對シ
償ヲ求ムルコトヲ得可シ

一六八二
第七百二十二條 買主前條ニ定メタル增高ヲ
與ヘ其物件ヲ保有セント欲スル時ハ賣主ノ

其賣買ノ契約ヲ取消サント訴ヘタル日ヨリ以來其
增高ノ息銀ヲ拂フ可シ

若シ買主其物件ヲ賣主ニ返シ其代金ヲ已レ
ニ取戻サント欲スル時ハ賣主ノ其契約ヲ取
消スヲ許タル日ヨリ以來其物件ヨリ得タ
ル所ノ利益ヲ賣主ニ返スヘシ
又買主ノ拂フタル代金ノ息銀ハ賣主其契約
ヲ取消サントスル訴ヲ為シタル日ヨリ之ヲ

其買主ニ算計ス可シ又買主其買入タル物件
ヨリ生セシ利益ヲ初メヨリ所得ト為サシムル
時ハ其代金ヲ賣主ニ拂フタル日ヨリ以來ノ
息銀ヲ算計セシム可シ

第七百五十三條 買主ハ損失アルヲ以テ其賣
買ノ契約ヲ取消ス可カラズ

第七百二十四條 法律ニ循ヒ裁判所ノ命令ヲ
以テ為シタル賣拂ニ付テハ損失アルヲ以テ

其契約ヲ取消ス可カラス

迫賣ノ事

一六八六

第七百二十五條 教人ノ共通スル物件ヲ損失

ナク平當ニ分ツトヲ得サル時又ハ教人ノ共

通スル物件ヲ互ニ悞議シテ分派シ其分派ヲ

得可キ各人ノ皆已レノ所有ト為ストヲ得サ

ル物又ハ所有トスルトヲ欲セサル物アル時

ハ迫リ賣ヲ以テ之ヲ賣拂ヒ其教人ニ其代金

ヲ分ツ可シ

一六八七

第七百二十六條 共通シテ物件ヲ所有スル各

人ハ他人ヲシテ其迫リ賣リニ管涉セシムル

ト自由ナリトス又其共通シテ所有スル者ノ

中一人幼者ナル時ハ必ス他人ヲシテ其迫リ

賣ニ管涉セシム可シ

一六八八

第七百二十七條 迫リ賣ヲ為ス法式ハ訴訟法

ニ之ヲ記ス

義務ヲ得可キノ権利及ヒ其他ノ権利
ヲ人ニ移ス事

一六八九

第七百二十八條 義務ヲ得可キノ權又ハ許訟

ヲ為スノ權ヲ人ニ移ス時ハ之ヲ渡ス者ヨリ
之ヲ讓リ受クル者ニ其證書ヲ渡シタルヲ
以テ其權ノ引渡ヲ為シタリトス

一六九〇

第七百二十九條 權利ヲ讓リ受ケタル者義務

者ニ其旨ヲ報知シ義務者承諾ノ証書ヲ得ク

レ上ハ亦他人ニ對シテ其權利ヲ讓リ受ケク
ルト為ス可シ

一六九二

第七百三十條 義務ヲ得可キノ權利ヲ賣リ又

ハ讓リ渡シタル時ハ保證ノ權並ニ債主ノ持
權及ヒ書入質ノ權等ノ如ク總テ其權利ニ附
帶シタル諸事ヲモ亦包含ス可シ

一六九三

第七百三十一條 義務ヲ得可キノ權利或ハ其

他ノ權利ヲ賣リタル者其賣拂ヘノ契約ニ別

段保證ヲ為スヲナシト雖ニ其賣拂ヘノ時ニ
當リテ其權利ノ現存スルヲ證ス可シ 原千
六百
九十四條十六
百二十七條

第七百三十二條

義務ヲ得キノ權利又ハ其
他ノ權利ヲ賣リタル者ハ之ヲ買主ニ對シ其義
務者ノ之ヲ尽クシ得可キヲ保證スルニ及
ハス但シ其保證ヲ為ス可キヲ別段約束シ
タル時ハ其賣主已レニ得タル代金ニ充ル迄

其保證ヲ為ス可シ 原千六百九
十五條

第七百三十三條

義務ヲ得可キノ權利又ハ其
他ノ權利ヲ賣リタル者其買主ニ對シ其義務
者ノ之ヲ尽クシ得可キノ保證ヲ為スヲ約
シタル時ハ其義務者ノ當時之ヲ尽シ得可キ
ヲノミテ保證シタルモノト為シ之ヲ後日ニ
及ホスヲナカル可シ但シ其賣主義務者ノ後
日ニ至リ其義務ヲ尽シ得可キヲ保證シタ

時ハ格別ナリトス

第七百三十四條

許訟ヲ為スノ權ヲ有スル者ヨリ他人ニ之ヲ譲リ渡シタル時ハ其許訟ヲ受ク可キ者ヨリ其權ヲ得タル者ニ對シ其譲リ渡シテ得ルニ付テノ代金ト其正當ノ費用ト其權ヲ得ルニ付キ代金ヲ拂フタル日ヨリ以來ノ息銀トヲ償フニ於テハ其許訟ヲ受クル事ヲ免カル、ヲ得可シ

第七百三十五條

權利ノ事ニ付キ許訟又ハ爭論ノ起ルタル時ハ其事ヲ以テ許訟アル者ト為ス可シ

第七百三十六條

左ノ三箇ノ場合ニ於テハ譲渡シノ代金ナキニヨリ原千六百九十九條ニ記シタル規則ヲ用ノ可カラス

第一 一箇許訟ノ權ヲ已ト共ニ有スル者

ニ之ヲ譲渡シタル時

第二 一方ノ者ヨリ他ノ一方ノ者ニ對シ

テ義務ヲ尽クスニ換ヘ自己ノ權ヲ

讓渡シタル時 一方ノ者家資分散等

類ヲ典フル

第三 訴訟アル不動産ノ占有者入額所得

者ノ如キニ其不動産所有ノ權ヲ讓渡シ

タル時

交換ノ事

第七百三十七條 交換トハ双方ニテ互ニ物件

ヲ授受スル契約ヲ云フ

第七百三十八條 交換ハ双方ノ者ノ承諾ノミ

ヲ以テ為スヲアリ又ハ證書ヲ以テナスヲア

第七百三十九條 交換スル者他ノ一方ノ者ヨ

リ物件ヲ受取リタル後他ノ一人其物件ノ所

有者ニ非サルノ證アル時ハ交換ノ為メ與フ

可キコトヲ約シタル物件ヲ與フルニ及ハス唯
其受取リタル物件ヲ返ス可シ

第七百四十條 交換スル者他ノ一方ノ者ヨリ
受取リタル物件ヲ後ニ他人ヨリ訴訟ヲ受ケ
奪ハレタル時ハ他ノ一方ノ者ヨリ其損失ノ
償ヲ得又ハ已レヨリ與ヘタル物件ヲ取戻ス
コト自由ナリトス

第七百四十一條 交換スル他ノ一方ノ者損失

アリト雖モ既ニ交換ヲ取行ヒシ工ハ其契約
ヲ取消スコトヲ得ス

第七百四十一條 其他賣買ノ契約ニ付キ定メ
タル規則ハ交換ノ契約ニモ亦通シテ之ヲ用
フ可シ

